

令和3年8月10日  
記者発表資料

## 東京2020 NIPPONフェスティバル「ONE-Our New Episode- Presented by Japan Airlines」の配信内容が決定しました！

自宅で神奈川県ゆかりの文化芸術を楽しもう！

令和3年7月12日(月曜日)に記者発表しました「東京2020 NIPPONフェスティバル」主催プログラム「ONE-Our New Episode-Presented by Japan Airlines」のコンテンツの一つ、「Our Glorious Future ~KANAGAWA 2021~」のオンライン配信の内容や配信日が決定しました。是非神奈川県にゆかりのある一流アーティストによる映像を、御自宅でお楽しみください。なお、本事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じております。



## 1 配信内容

詳細は別紙のとおり。

## 2 配信スケジュール (予定)

	内容	配信(公開)開始日
全体 紹介	各部門ダイジェスト映像	9月10日(金曜日)
ダンス のミライ	ディレクション:森山開次 ① AR 森山開次「心臓」「胆のう」 ② 新作映像「BODY face   目と目で向き合う」 「BODY resonance   からだの音色」ほか ③ 新作映像 大前光市×LIVE BONE ④ パフォーマンス ひびのこづえ×ホワイトアスパ ラガス×川瀬浩介「WONDER WATER」	① 8月16日(月曜日) ② 8月23日(月曜日) ③ 8月25日(水曜日) ④ 9月10日(金曜日)
演劇 のミライ	総合ディレクション:多田淳之介 ① しる・やる・かわる共生ドキュメント ・ 老いとの共生 『菅原直樹氏:老いとボケと演劇～認知症の人 と“いま、ここ”を楽しむ～』 ・ モノとの共生 『大月ヒロ子氏:くふうよ!→(きったり・ぬった り・つないだり)→!ようふく』 ・ 自分との共生 『ヴィヴィアン佐藤氏:名付けられない時間、名 付けられない空間、名付けられない自分』 ② いる・おどるセレモニードキュメント 『わんす おぼん な たいむ』(取材対応可)	① ② 9月10日(金曜日)

<p>アート のミライ</p>	<p>キュレーション:藤川悠</p> <p>① 「あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくる でしょう。」津田道子</p> <p>② 「Culturing &lt;O/Paper&gt;cut」岩崎秀雄</p> <p>③ 「ステラノーヴァ」 MATHRAX[久世祥三+坂本茉莉子]</p> <p>④ 「空気の研究」三原聡一郎</p> <p>⑤ 「Ether - liquid mirror -」佐久間海土 (一部取材対応可)</p>	<p>① ~ ⑤</p> <p>9月3日(金曜日)</p>
<p>音楽 のミライ</p>	<p>① 「楽しさを分かち合おう！」サルサガムテープ</p> <p>② 「時をかける<sup>ヒビキ</sup>韻 ~奇蹟の尺八 三橋貴風~」 三橋貴風</p>	<p>① ② 9月10日(金曜日)</p>
<p>工芸 のミライ</p>	<p>① 「青・黄・黒・緑・赤 前田正博作陶50周年 色 の風景展 同時開催 白石和宏・小林佐和子 神奈川の 作家展」</p> <p>② トークショー「工芸から見える日本酒のミライ」 前田正博、植野広生ほか</p>	<p>① ② 9月10日(金曜日)</p>

※ 上記動画は、公式サイト(<https://kanagawa.nippon-fes-one.tokyo2020.org/>)から御覧  
ください。

また、配信スケジュールは変更する場合があります。配信開始時間も含め最新情報は  
公式サイトを御確認ください。

※ 公式サイトは、8月16日(月曜日)に配信用にリニューアル予定です。

### 3 取材について

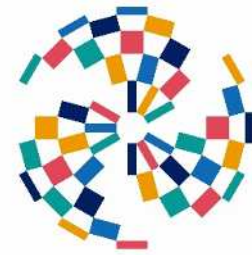
8月14日(土曜日)16時30分から18時00分まで取材時間(演劇のミライの一部とアートのミラ  
イの一部作品が取材対応可能)を設けます。取材を希望される場合は、8月13日(金曜日)  
12時までに問合せ先に御連絡ください。

### ※東京2020 NIPPONフェスティバル

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもあります。東京2020 NIPPONフェスティバルとは、世界の注目が日本・東京に集まる2021年4月から9月にかけて実施される、東京2020大会の公式文化プログラムです。

スポーツと共にあらゆる境界を超えた連帯の象徴として平和な社会の実現に貢献しつつ、日本が誇る文化を国内外に強く発信するとともに、共生社会の実現を目指して多様な人々の参加や交流を生み出すこと、そして文化・芸術活動を通して多くの人々が東京2020大会へ参加できる機会をつくり、大会に向けた期待感を高めることを目的としています。

詳細は東京2020 NIPPONフェスティバル公式サイト (<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/events/nippon-festival/>) を御覧ください。



東京2020  
NIPPON  
フェスティバル

### 問合せ先

---

神奈川県国際文化観光局文化課

マグカル担当課長

中里

電話 045-285-0760

文化プログラムグループ

松井

電話 045-285-0220

## 1 ダンスのミライ

ディレクション:森山開次(ダンサー・振付家)



新作映像『BODY face | 目と目で向き合う』より

「1人ひとり異なるからだ」をテーマに森山開次・ひびのこづえ・川瀬浩介による協働作品『LIVE BONE』シリーズとして、義足のダンサー・大前光市をゲストアーティストに招き、前川建築の代表作 神奈川県立音楽堂で制作した新作映像のほか、AR森山開次、大前光市ソロパフォーマンス、海の中で共生する多様な生き物を色鮮やかに描くパフォーマンス「WONDER WATER」を順次公開。スマホからのアクセスで、森山開次の“キモかわ”ダンスを眼の前で楽しめる「AR森山開次」をぜひ体験ください。(※ARとは、実在する空間にバーチャルなコンテンツを重ねて表示することで、仮想的に目の前の世界を拡張するというものです。)

### (1) AR 森山開次「心臓」「胆のう」

- ・ 振付・出演:森山開次 衣装:ひびのこづえ 音楽:川瀬浩介

### (2) 新作映像「BODY face | 目と目で向き合う」「BODY resonance | からだの音色」ほか

- ・ 振付・出演:森山開次、大前光市 衣装:ひびのこづえ 音楽:川瀬浩介

### (3) 新作映像 大前光市×LIVE BONE 「タイトル未定」

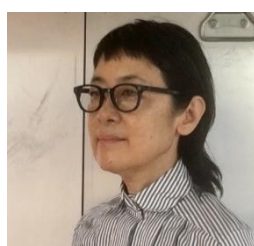
- ・ 振付・出演:大前光市 衣装:ひびのこづえ 音楽:川瀬浩介

### (4) パフォーマンス ひびのこづえ×ホワイトアスパラガス×川瀬浩介「WONDER WATER」

- ・ 振付・出演:ホワイトアスパラガス(谷口界、ハチロウ) 衣装・美術:ひびのこづえ  
音楽:川瀬浩介



森山開次©Sadato Ishizuka



ひびのこづえ



川瀬浩介



大前光市

## 2 演劇のミライ 「しるやるかわるいるおどるプロジェクト」

総合ディレクション:多田淳之介(演出家)



多田淳之介総合演出による、自分や他人を知ることから共生社会の実現へ一歩踏み出すためのプロジェクト。共生へのヒントやきっかけとなる活動をされている方へのインタビューやワークショップのドキュメント映像、そして盆踊りをモチーフに、亡くなったヒト、失ったモノ、そして今いるわたしたちのこれからのためのセレモニーをお届けします。



多田淳之介 撮影:平岩亨

### (1) しるやるかわる共生ドキュメント

- ・ 老いとの共生  
『菅原直樹氏:老いとボケと演劇～認知症の人と“いま、ここ”を楽しむ～』
- ・ モノとの共生  
『大月ヒロ子氏:くふうよ! →(きったり・ぬったり・つないだり)→! ようふく』
- ・ 自分との共生  
『ヴィヴィアン佐藤氏:名付けられない時間、名付けられない空間、名付けられない自分』

### (2) いる・おどるセレモニードキュメント 『わんす おぼん な たいむ』

- ・ 構成、振付:永野百合子(妖精大図鑑)
- ・ 出演:飯塚うなぎ、永野百合子、間野律子、山下恵実、安部萌、齊藤コン、住玲衣奈
- ・ 特別出演:ヴィヴィアン佐藤
- ・ 作調・演奏:やまみちやえ(太棹三味線)、望月左太助(囃子)、藤舎雪丸(囃子)、迎田優香(笛)、西垣秀彦(唄)

ほか



### 3 アートのミライ

キュレーション:藤川悠(茅ヶ崎市美術館学芸員)



「ステラノーヴァ」



「Ether - liquid mirror -」

5組のアーティストの作品は、前川國男の建築群を舞台に場に呼応し、人・生物・光・音・風など有形無形のものたちと創られていきます。大きな流れの中で変わりつづける今、人の居ない空間に佇む作品を通し、本来であれば迎える予定であった人間の存在に深く想いを馳せ、ささやかな存在と多様なものたちとの共生について考えを巡らせるひとときを創出できたらと思います。

・ キュレーター:藤川悠



©Ben Matsunaga

・ 作品・アーティスト:

- (1) 「あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。」 津田道子
- (2) 「Culturing <O/Paper>cut」 岩崎秀雄
- (3) 「ステラノーヴァ」 MATHRAX〔久世祥三+坂本菜里子〕
- (4) 「空気の研究」 三原聡一郎
- (5) 「Ether - liquid mirror -」 佐久間海土

## 4 音楽のミライ

### (1)「楽しさを分かち合おう！」



サルサガムテープのコンサートは、多様性や共生社会を声高にアピールするのではなく、ライブ演奏をして、サルサガムテープそのものが、多様性や共生社会を、目の前で具現化していきます。とびきり自由なライブ空間の中で、楽しさを分かち合い、本来必要のなかった心の壁がゆっくり崩れていく、心地よさを体験できます。今回は、尺八演奏家の大山貴善氏とのジョイント演奏もお楽しみ頂けます。

- ・ 出演:サルサガムテープ、大山貴善

### (2)「時をかける<sup>ヒビキ</sup>韻 ～奇蹟の尺八 三橋貴風～」



尺八の祖先は遠く古代オリエントであったという説があります。公演の前半は古の虚無僧の音楽から上方の地歌、そして武満徹ほかの現代の音楽、そして後半はギリシャの楽器ブズキ等とのコラボで、音楽の十字路を！

- ・ 出演:三橋貴風、福田栄香、外山香、手使海ユトロ ほか



## 5 工芸のミライ



(前田氏作品)



(白石氏作品)



(小林氏作品)

2019年第68回神奈川文化賞を受賞するなど、半世紀以上、神奈川・横浜を拠点に創作を続け、現代工芸界をリードする陶芸家 前田正博の華やかでありながら繊細、かつ重厚感のある作品を紹介。同時に、神奈川を代表する陶芸家、白石和宏と小林佐和子の作品も紹介します。

- (1) 「青・黄・黒・緑・赤 前田正博作陶 50周年 色の風景展  
同時開催 白石和宏・小林佐和子 神奈川の作家展」

・ 陶芸家:前田正博、白石和宏、小林佐和子

- (2) トークショー「工芸から見える日本酒のミライ」

・ 出演:前田正博、植野広生、外館和子、橋場友一



前田正博



植野広生



外館和子



橋場友一

### 【参考】横浜市西区紅葉ヶ丘文化ゾーンについて

世界の近代建築運動をリードしたフランスの建築家ル・コルビュジエに日本人として初めて師事し、帰国後はモダニズム建築の旗手として、第二次世界大戦後の日本建築界をリードした、前川國男の建築作品である、神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センターや神奈川県立図書館等で構成。

なお、神奈川県立音楽堂及び神奈川県立図書館については、8月3日開催の神奈川県教育委員会8月定例会において、神奈川県指定重要文化財に指定することが決定しています。



写真提供:前川建築設計事務所

令和3年6月1日  
記者発表資料

## 東京2020大会に合わせて「静、愛と死～能とオペラの融合による創作舞台～」を開催します！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を、神奈川県のご伝統文化や歴史への関心を深め、多様な文化芸術への共生を通じた国際的な相互理解を促進する機会と捉え、神奈川県立県民ホールにて能「船弁慶」とオペラ「静と義経」の融合による創作舞台を開催します。本公演は、東京2020大会の公式文化プログラムである東京2020 NIPPONフェスティバル(※)の共催プログラムに位置付けられています。なお、本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で実施します。皆さん是非お越しく下さい！



日本オペラ協会創立 60 周年記念公演「静と義経」(2019 年)  
©公益財団法人日本オペラ振興会

### 1 日時

8月7日(土曜日) 15時(開演) (14時15分開場)

### 2 場所

神奈川県立県民ホール 大ホール

横浜市中区山下町 3-1

### 3 主催等

主催:神奈川県

共催:公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、  
神奈川県立県民ホール、神奈川県立かながわアートホール

後援:鎌倉市

### 4 実施概要

#### (1) 第1部 能「船弁慶」

「船弁慶」は「義経記」や「平家物語」、「吾妻鏡」を素材とし、源義経や弁慶、静御前などが登場する分かりやすい能で、弁慶の語りを中心に物語が展開されています。

本公演では、前半の静御前と義経の別れが描かれる部分を上演し、第2部のオペラ「静と義経」に展開を繋ぎます。

また、日本語や英語等の字幕を使用し、初心者でも分かりやすい内容となっています。



#### (2) 第2部 オペラ「静と義経」

第2部は 1993 年に鎌倉芸術館のオープニングとして初演された、なかにし礼作・台本、三木稔作曲「静と義経」のダイジェスト版を上演します。第1幕「吉野山雪の別れ」における静と義経の涙の別れから、第2幕「八幡宮 静の舞い」、第3幕「静の死と愛のまぼろし」の全3幕の中から、第1部の能「船弁慶」との関連性を意識しながら、名場面を厳選したものです。

第1部の能「船弁慶」からの繋ぎや、ダイジェスト版の場面を効果的に運ぶ役として、琵琶奏者による平曲としての弾き語りを数か所挟みながら、能とオペラの新しいコラボレーションとして、オペラ中の静御前による白拍子を、鎌倉能舞台の創作能舞として挿入することで、東洋と西洋の芸術の融合を図ります。

なお、日本語や英語等の字幕を使用するとともに、照明・映像による効果的な演出を行い、初心者でも楽しめる内容となっています。



日本オペラ協会創立 60 周年記念公演「静と義経」(2019 年)  
©公益財団法人日本オペラ振興会

## 5 出演者

### 第1部 公益財団法人鎌倉能舞台

中森貫太(シテ) 富坂唐(子方) 福王和幸(ワキ)

杉信太朗(能管)

鵜澤洋太郎(小鼓)

亀井広忠(大鼓)

澤田晃良(太鼓)

観世喜正(地頭)

### 第2部 日本オペラ協会 所属歌手

( 砂川涼子(Sop.静)、向野由美子(M.Sop.磯の禪師)、  
中井亮一(Ten.義経)、森口賢二(Br.頼朝) )

山田明美(二十絃箏)

櫻井亜木子(薩摩琵琶)

藤舎花帆(小鼓)

田中祐子(指揮)

公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

## 6 チケット

全席指定:SS席 6,000円 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円

学生(25歳以下) 1,000円

チケットは6月10日(木曜日)10時より、神奈川フィル・チケットサービスにて先行販売を開始します。

神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107(火曜日・水曜日・木曜日 10時～13時)

<https://piagettii.e-get.jp/kanaphil/pt/>

## 7 取材について

神奈川県立県民ホールに直接お越しく下さい。なお、出演者に関する取材は、問合せ先へ事前に御連絡ください。

## 8 その他

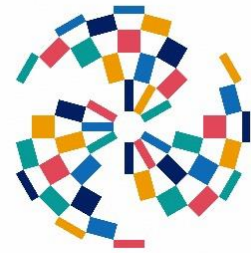
詳細は、公式サイト(URL <https://special2108.kanaphil.or.jp>)を御覧いただくか、また、公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団(本事業の受託事業者)電話 045-226-5045 事務局までお問合せください。

なお、本公演は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて中止又は開催方法等を変更する場合があります。最新情報は公式サイトにて御確認ください。

### ※東京2020 NIPPONフェスティバル

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもあります。東京2020 NIPPONフェスティバルとは、世界の注目が日本・東京に集まる2021年4月から9月にかけて実施される、東京2020大会の公式文化プログラムです。

スポーツと共にあらゆる境界を超えた連帯の象徴として平和な社会の実現に貢献しつつ、日本が誇る文化を国内外に強く発信するとともに、共生社会の実現を目指して多様な人々の参加や交流を生み出すこと、そして文化・芸術活動を通して多くの人々が東京2020大会へ参加できる機会をつくり、大会に向けた期待感を高めることを目的としています。



東京2020  
NIPPON  
フェスティバル

詳細は東京2020 NIPPONフェスティバル公式サイト (<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/events/nippon-festival/>) を御覧ください。

## 9 参考

本公演のレクチャーコンサートを、神奈川県立かながわアートホールで開催します。

能やオペラの初心者でも公演を楽しめるよう、鎌倉能舞台による能講座や、オペラ「静と義経」の解説、オーケストラと共に演奏する箏ことうのコンサートをお楽しみいただきます！

- ・ 日 時 6月19日(土曜日) 10時30分開演 (10時00分開場)
- ・ 会 場 神奈川県立かながわアートホール(横浜市保土ヶ谷区花見台4-2)
- ・ 入場料 無料 (定員 100名)
- ・ 申込期限 6月15日(火曜日)17時15分まで
- ・ 申込方法 (電子申請又は電話)

電子申請は、下記2次元コードからアクセスしてください。

電話: 045-210-3804 (氏名、住所、電話番号、メールアドレスをお伝えください。)



## 問合せ先

神奈川県国際文化観光局文化課

マグカル担当課長

中里

電話 045-285-0760

文化プログラムグループ

松井

電話 045-285-0220



令和3年7月 12 日  
記者発表資料

## 「静、愛と死～能とオペラの融合による創作舞台～」 の開催方法の変更について

令和3年6月1日(火曜日)に記者発表しました「静、愛と死～能とオペラの融合による創作舞台～」(令和3年8月7日開催予定)については、県内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、また、より安全・安心な環境で実施するため、無観客開催とし、ライブ配信(無料)を実施します。

### 1 日時(日時に変更はありません。)

令和3年8月7日(土曜日)15時～17時(ライブ配信)

※後日、アーカイブ配信も予定しております。

### 2 予定していた開催方法

神奈川県立県民ホール 大ホール(横浜市中区山下町 3-1)にて有料・有観客開催。

### 3 変更後の開催方法

当日、無料でライブ配信を実施します。なお、配信スケジュールは変更する場合があります。最新の配信情報は次のページを御確認ください。

公式サイト(URL <https://special2108.kanaphil.or.jp>)

### 4 取材対応について

別途お知らせします。

### 5 販売済みのチケットについて

御購入されたチケットの払い戻しについては、本事業の受託事業者である公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団より、個別に御連絡いたします。

### 問合せ先

---

神奈川県国際文化観光局文化課

マグカル担当課長 中里 電話 045-285-0760

文化プログラムグループ 松井 電話 045-285-0220